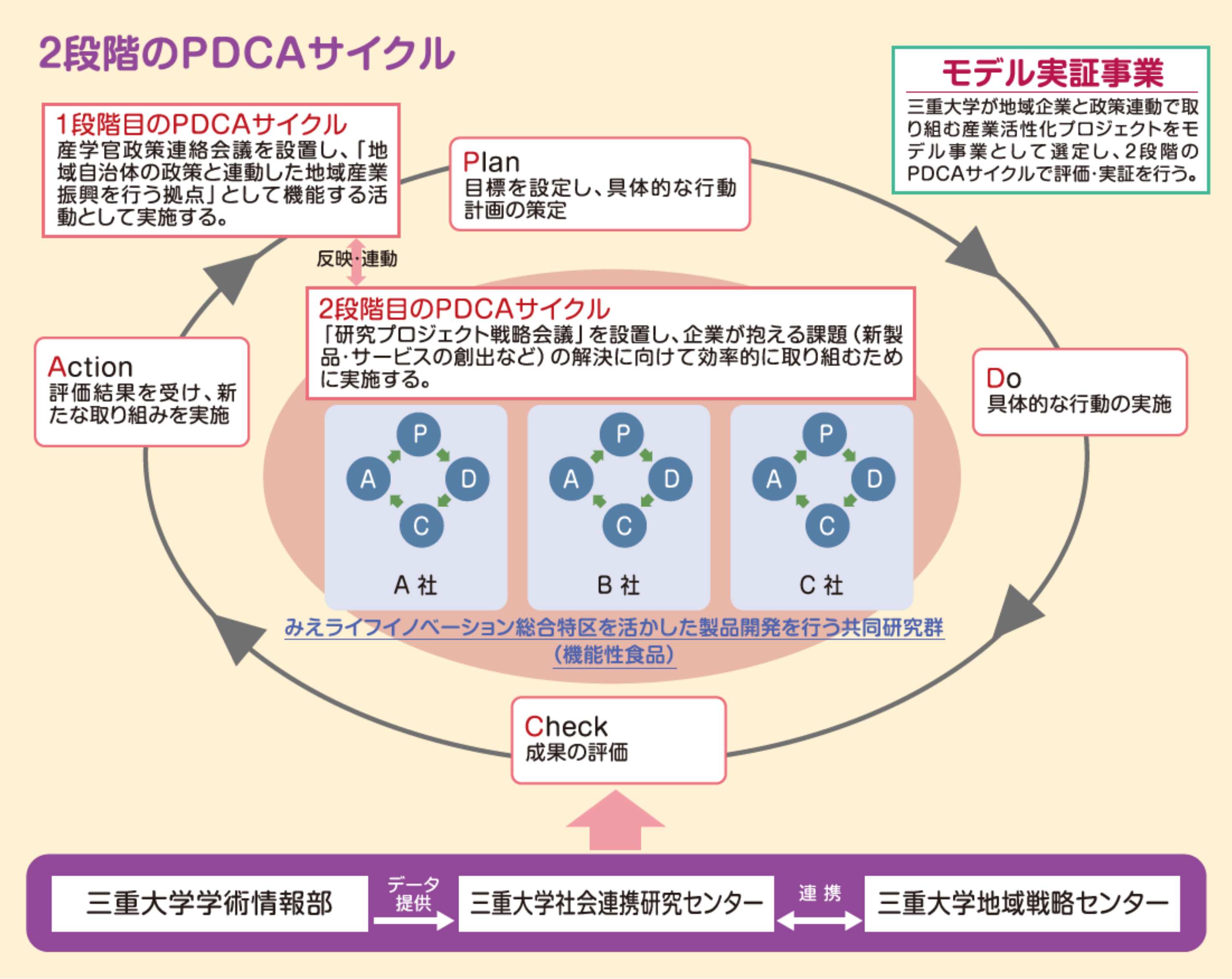
みえライフイノベーション総合特区モデル実証事業が実施されます（MieLIPセントラル）！

三重大学では、経済産業省「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業」に提案し、採択をされました。本事業は、大学がこれまで整備してきた産学官連携体制を基盤に、さらに連続的にイノベーション創出を促進するため、産学連携活動の評価制度（※PDCAサイクル）のモデルを構築するものです。

具体的には、大学と県内企業との共同研究・受託研究（以下、「共同研究等」）のうち、みえライフイノベーション総合特区を活用する3社について、各々「研究プロジェクト戦略会議」を設置し、課題解決にむけた評価・検討（PDCAサイクル）を試行して医学的エビデンスに基づく付加価値の高い機能性食品等の創出と創出された製品について海外への販路展開をめざします。



また、産学官政策連絡会議を設置し、3つの研究プロジェクト戦略会議では共通の課題を拾い上げ、課題解決のPDCAサイクルを策定し、実行します。その評価は、各研究プロジェクト戦略会議にフィードバックすることで、「地域企業との共同研究等で得られる成果の最大化を図る」モデル（地域課題解決の三重方式）を構築します。

本事業では、単なる地域の中小企業の支援を目的とするものではなく、「技術力の高い地域企業が持つ成長ポテンシャルを最大限に発揮させる仕組み」を提供するものであり、日本の21世紀型の経済成長を牽引する「地域発イノベーションを誘発する」ことをめざしていきます。

※PDCAサイクル：事業活動の中で、①Plan（目標を設定し、具体的な行動計画の策定）② Do（具体的な行動の実行）③ Check（成果の評価）④ Action（必要に応じて修正）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

MieLIP伊賀（伊賀市立上野総合市民病院）の取り組み紹介

伊賀市立上野総合市民病院

ＭｉｅＬＩＰ伊賀では、伊賀市立上野総合市民病院が企業や大学、行政等と連携し、様々な取り組みを進めています。

今回は、伊賀市立上野総合市民病院の三木誓雄院長とLION　Project[※1] ゼネラル・マネージャー（G.M）江藤啓司氏にお話を伺いました。

伊賀市立上野総合市民病院

三木誓雄院長

伊賀地域の中核病院として

伊賀市立上野総合市民病院は、伊賀地域の中核病院として救急医療から在宅医療までカバーできるよう、施設内の設備、人的資源の充実に取り組んでおります。

一方、がん治療にも積極的に取り組んでおり、平成23年には、日本初のがん総合診療センターとして、「外来化学療法室（抗がん剤治療）」を併設した「がんサポート・免疫栄養療法センター」を開設しました。ここでは、医師や看護師、栄養士、薬剤師、ケースワーカー、理学療法士が一つのチームとして患者さま一人ひとりへの治療やサポートを実施しています。具体的には、がん治療が最も効果を示すように、外科手術やがん化学療法、緩和ケア、栄養療法などを組み合わせた治療を行います。

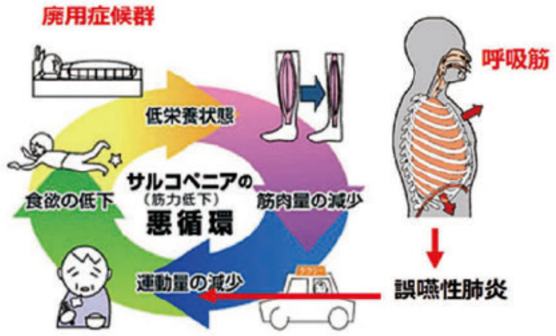
また、平成25年度には、三重県のがん治療の中核病院に指定されており、質の高い医療活動の実践に向け、平成27年1月に完成予定である「地域がんセンター」の開設準備を進めています。

在宅医療の支援に向け

今後重要性が高まる分野として、在宅医療があります。患者さまが自宅で安心して暮らせるように、当院では治療だけでなく、訪問看護や食事などの栄養面の支援にも取り組んでいます。現在、企業と共同で病院食・介護食の開発に取り組んでいます。病院と企業が連携することにより、入院から在宅まで患者さまをサポートしていきたいと考えています。

地域で支える高齢者ケア

最近では、予防医学の観点からサルコペニア（筋肉減少症）対策が重要視されてきています。高齢者の25%が発症しているとされており、サルコペニアによる筋力低下に伴い、運動量や食欲が低下し低栄養状態となるほか、誤えん性肺炎[※2]などを引き起こすリスクが高くなるとされています。サルコペニアの予防・改善、健康寿命の延伸を目的として、平成26年7月に「サルコペニア外来」を新設し、患者さま一人ひとりにあわせた体力の改善指導や栄養指導などを行っていく予定です。



LION Project G.M
江藤啓司氏

企業との連携に向け

伊賀のように医師や看護師などの医療スタッフが少ない地域で、医療・福祉を充実させていくためには、病院と企業が連携して新たな製品やサービスを開発していく必要があります。しかし、医療・福祉分野の敷居の高さが、企業の新規参入や研究開発を妨げる要因の一つとなってしまっています。

当院では、医療・福祉分野のハードルを下げるため、病院見学会やヘルスケア産業に関心の高い企業への訪問などに取り組んでいます。

企業に期待すること

県内の企業に対しては、新規参入や研究開発に向け、「医療・福祉機関へもっと積極的に関わってほしい」、「もっと病院を活用してほしい」と感じています。また、新たな商品やサービスの企画・研究開発にあたっては、企業単体で取り組むのではなく、企業や病院、行政等がコンソーシアムを組んで取り組んでいくことが必要であると考えています。

今 後

企業と病院との連携から新しい商品やサービスを生み出し、雇用創出や地域の活性化などにつなげ、地元に貢献していくなど、ＭｉｅＬＩＰ伊賀の取り組みとして、三重県のライフイノベーションの推進に寄与していきます。

※1LION（Life Innovation Over the Next-Stage）Projectとは、先駆的医療・福祉・介護の融合による新しい医療を実現し、日本の地域医療再生のモデルを構築することを目的とした伊賀市立上野総合市民病院の取り組み事業。

※2食べ物や唾液などが、気管及び肺に入ってしまうことを誤えんといい、食物，液体，胃内容物または咽頭分泌物を誤えんし、咳反射などでこれを排除できないときに生じる肺炎を誤えん性肺炎という。

伊賀市立
上野総合市民病院
〒518-0823　伊賀市四十九町831
TEL:0595-24-1111　FAX:0595-24-2268
http://www.cgh-iga.jp/